

TSUMUGUBITO 第17回定例会

ダイバーシティ × インクルージョン

生涯ケアラーが抱える課題

2016年2月12日(金)

話題提供者：持田 恭子（ケアラーアクションネットワーク代表）

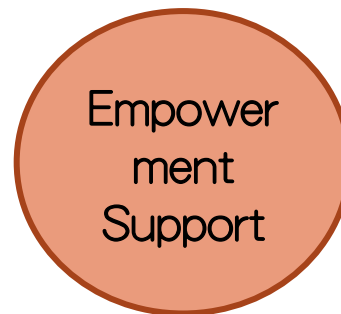
話題提供のきっかけ

CANはどんな活動をしているのか？

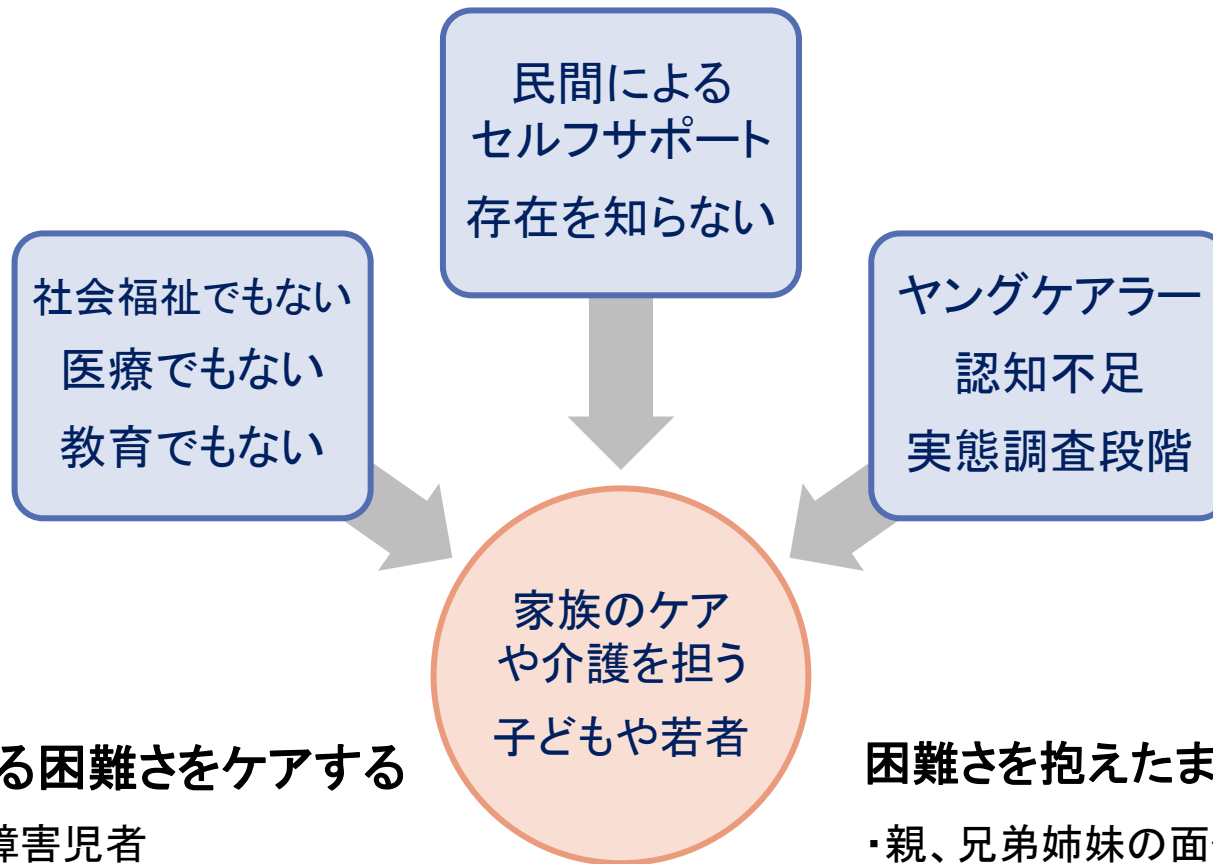
Carer Action Network (CAN)

ケアラーが、自らアクションを起こし、周りの人々と繋がっていく

- ・インクルーシブ社会を目指す
- ・エンパワメントサポート



ケアを担う子どもや若者 — その立場



家族が抱える困難さをケアする

- ・兄弟姉妹が障害児者
- ・親が精神疾患や依存症や慢性病
- ・母親がうつ病、父親がアルコール依存症
兄弟姉妹が障害児（複合型）

困難さを抱えたまま成長

- ・親、兄弟姉妹の面倒を見る
- ・他者に知られてはいけない
- ・自己解決しがち、抱え込む

ケアを担う子どもや若者 — 抱えている課題

家族のケア
や介護を担う
子どもや若者

精神的ストレス

- 周囲は気が付かない（健康だから問題ないだろう）

親子の立場や、きょうだいの順列が逆転

- 子どもが親の面倒を見る、弟や妹が兄や姉の面倒を見る

子どもらしい子供時代の喪失（早熟化）

- 同世代と馴染めない、大人の事情に振り回される

自己解決型

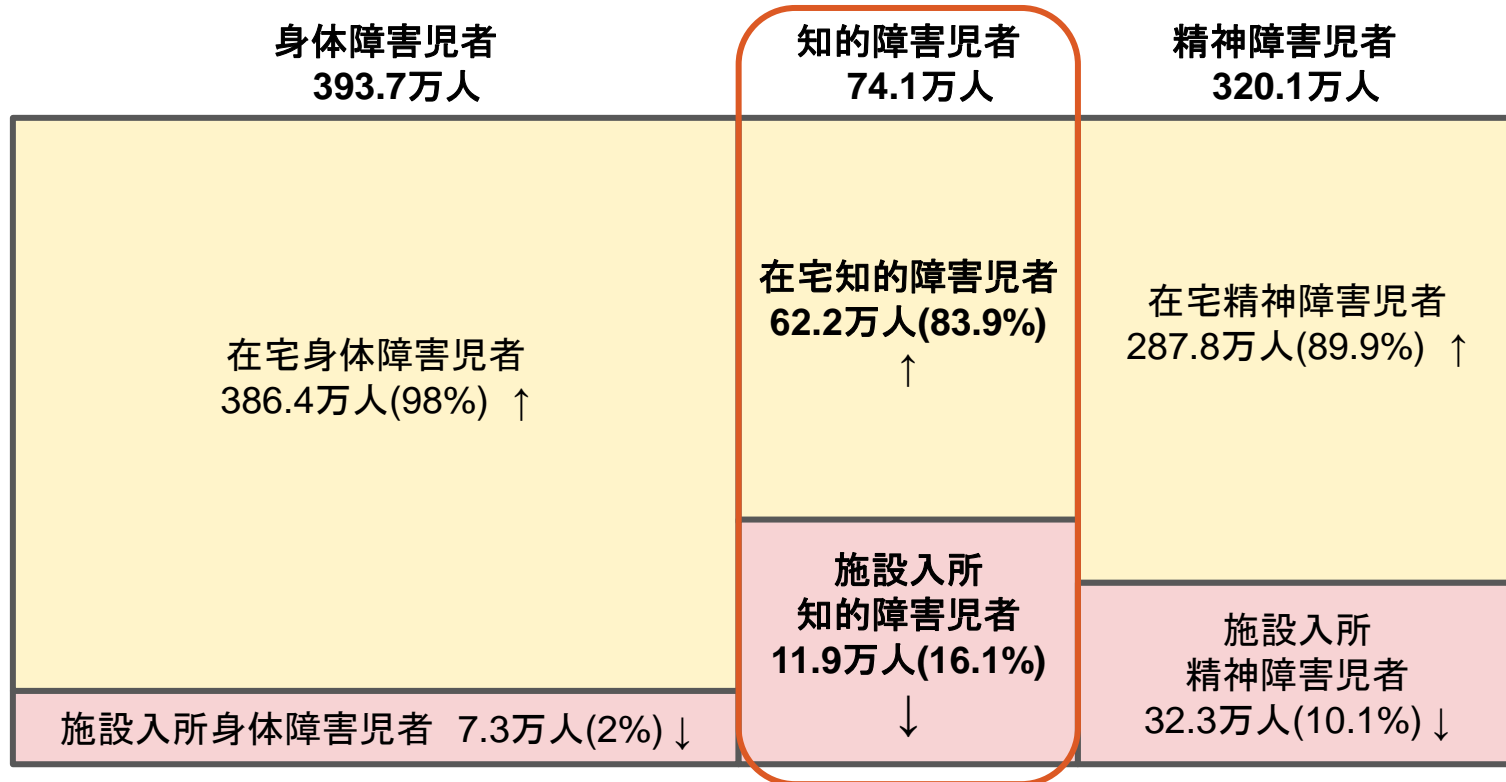
- 相談できない、ひとりで抱え込む、

生涯を通して家族をケアする

- ライフステージごとに家族の課題を気にしなければならない

障害者の数(在宅・施設)

障害者総数 787.9万人 (0.6%)
 うち在宅 736.4万人 (93.5%)
 うち施設入所 51.5万人 (6.5%)



出典：平成27年版 厚生労働省白書 <http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15-2/dl/10.pdf>

「身体障害者」在宅者：厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」(平成23年)

施設入所者：厚生労働省「社会福祉施設等調査」(平成21年)等より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

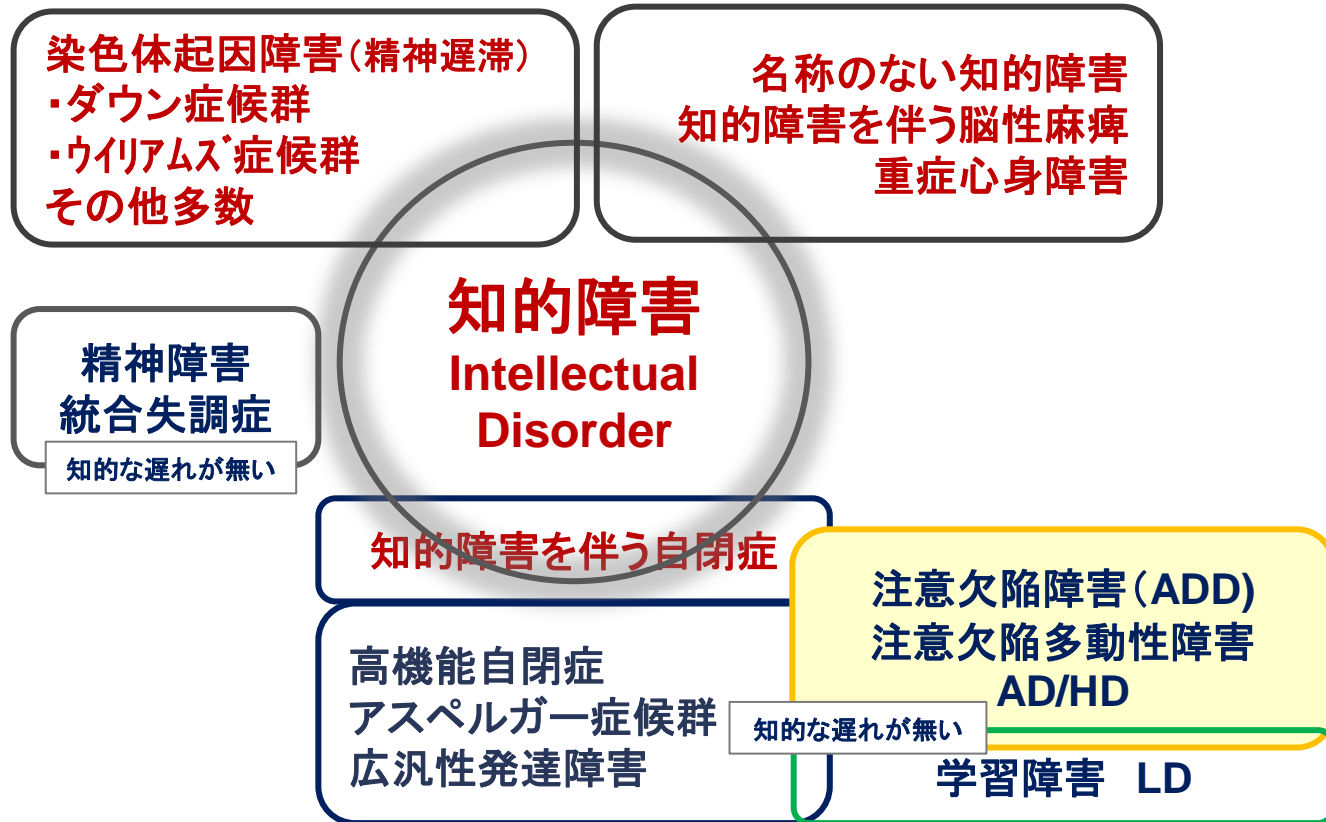
「知的障害者」在宅者：厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」(平成23年)

施設入所者：厚生労働省「社会福祉施設等調査」(平成23年)より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

「精神障害者」外来患者：厚生労働省「患者調査」(平成23年)より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

入院患者：厚生労働省「患者調査」(平成23年)より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

知的障害者とは

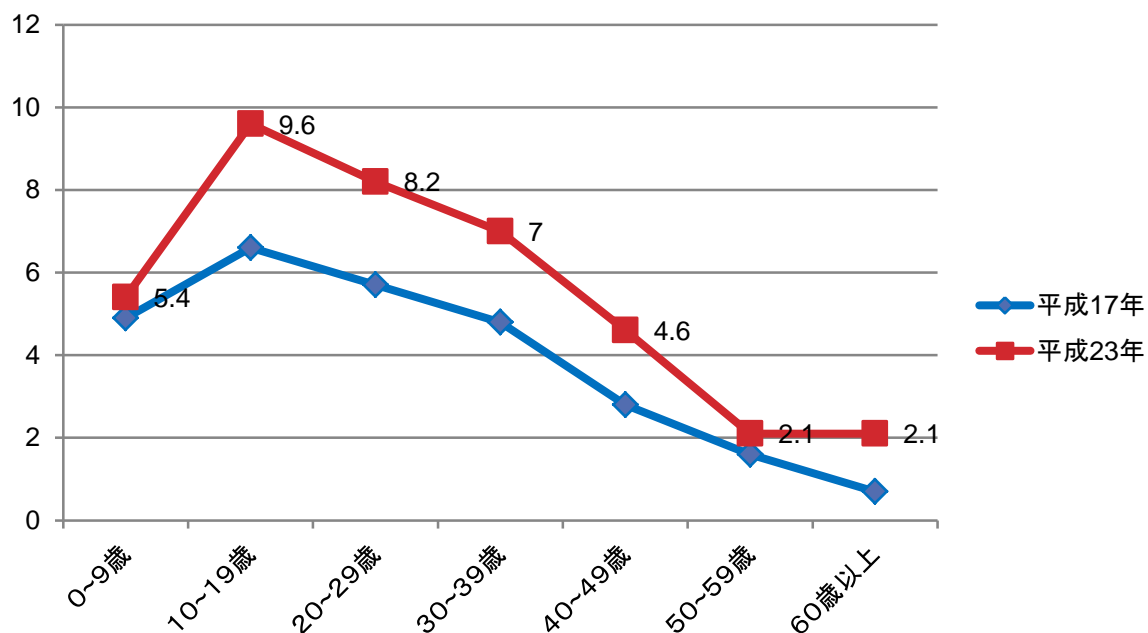


高機能自閉症 (知的な遅れが無い。①対人関係の困難さ、②他人に意思を伝える困難さ、③こだわり行動がある)
アスペルガー症候群 (知的な遅れや他人に意思を伝える困難さは無い。対人関係の困難さやこだわりはある)
AD/HD (知的な遅れが無い。不注意、多動、多弁、衝動的に行動する特性がある)
学習障害 (知的な遅れが無い。読む、書く、計算する能力が極端に困難)

知的障害児者数の推移

年齢階級別にみた知的障害児(者)数の推移(人口千人対)

	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
平成7年	2.8人	4.1人	4.1人	2.1人	1.7人	1.2人	0.5人
平成17年	4.9人	6.6人	5.7人	4.8人	2.8人	1.6人	0.7人
平成23年	5.4人	9.6人	8.2人	7.0人	4.6人	2.1人	2.1人



出典：平成27年版 厚生労働省白書 <http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15-2/dl/10.pdf>

資料：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部「知的障害児(者)基礎調査」、「生活のしづらさなどに関する調査」

(注) 人口千人対の知的障害児(者)数算出の基礎人口は、総務省統計局の「国勢調査」の人口を用いた

障害児者の家族が抱える課題

障害児者の家族が抱えている

複合的な課題

ライフステージごとの課題

障害児者本人の成長に合わせて
親もきょうだいも
年代ごとに様々な違いがある

親ときょうだい 一意識や感覚の違い

サービスの充実度

障害受容

知的障害者のきょうだい

きょうだいが求めていること

きょうだいの気持ちを理解してもらいたいのか？

Not Really

きょうだいを支援してもらいたいのか？

Not Really

何を求めているのか？

知的障害について世間の人々がもっと

知る機会が増えること

理解して尊重し合うこと

知的障害者を見かけない

シチュエーション	概要
交通機関	職員は快く配慮してくれる
映画館・シアター	多動や奇声
レストラン・カフェ	てんかんなど発作の心配
美術館・博物館	衝動的な行動への心配
動物園・レジャー施設	家族が持つ配慮と遠慮
ショッピング	本人の意思が確認しづらい
旅行	「無視」と「配慮をもった無関心さ」の違い 外出先での不慣れさ

どうすれば「障害への理解」が進むのか？

- ・幼い頃から障害児者と触れ合う機会
- ・外出機会
- ・誰もが参加できるイベント

きょうだいの集いで出された意見

CANの取り組み きょうだいの集い

EMPOWERMENT SUPPORT



エンパワメント・サポート・プログラム *Empowerment Support Program*

課題の
可視化

気持ち
の整理

月一回

知的障害者や精神障害者などのきょうだいが集まる

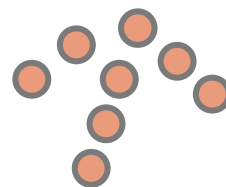
意見交換、情報交換、様々な経験談を聴く

凝り固まっていた考え方が柔軟に変化する

SNS等
発信

行動
変容

きょうだいの集い **EMPOWERMENT SUPPORT**



イノベーション
社会資源の活用
地域コミュニティとの共存

エンパワメントサポート



行動変容

自己表現(考え方の変化)
アクションを取り始める



セルフサポート

自分のことを話す
経験談を聴く

CANの取り組み

保護者との対話会

- ◎ 成年後見人制度について（自治体主催）
- ◎ 親のいるうちにできること（自治体主催）
- ◎ 若い世代の親御さんとの対話会（CAN主催）

CANの取り組み

大学での講義やゼミ指導

◎ S大学 社会学部

2014年7月 「障害のある家族との関わりについて」

2014年11月 「ヤングケアラーについて」

2015年7月 「共に生きる」

◎ R大学 社会福祉学部

2014年7月 「障害のある家族との関わりについて」

2015年7月 「共に生きる」

◎ H大学 キャリアデザイン学部

2015年12月 「ダイバーシティ・シンキングからインクルージョンへ」

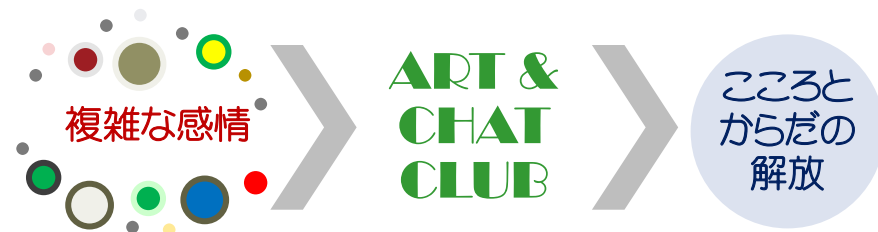
CANの取り組み **NEW!** **ART & CHAT CLUB**

クリエイティブ・インスピレーション・ワークショップ

アメリカで生まれた演劇メソッドを使った
体験型ワークを行う
ひとりひとりの個性を大事に引き出して
楽しく遊びながら、こころと身体を生き生きと
解放する

2016年 年4～5回開催予定

対象者：小学生～中学生



ART & CHAT CLUB

こころとからだを解放する
体験型ワークショップ
クリエイティブ・インスピレーション・ワークショップ

ART & CHAT CLUBでは、体験型ワークショップ(クリエイティブインスピレーションワークショップ)や、おでかけ会などを通して、お子さんと一緒に、思いっきり声を出したり、手足を動かしたりします。こころとからだを解放することで、こどもたちが本来持っている力を引き出すサポートをしています。

ナビゲーター：柳田 ありす さん (俳優・演技講師)



現在、「ラストサムライ」「バベル」などハリウッドのキャスティングディレクター 奈良橋陽子主催の演技スクールでの演技講師を務め、多数の舞台や講演活動中。ライブワークでは、ふじのキッズシアターにおいて子どもたちの「心と身体の解放」があるがままに出来る場。長年、演技指導を實踐している。ハリウッド映画「終戦のエンペラー」(2013年)に出演。

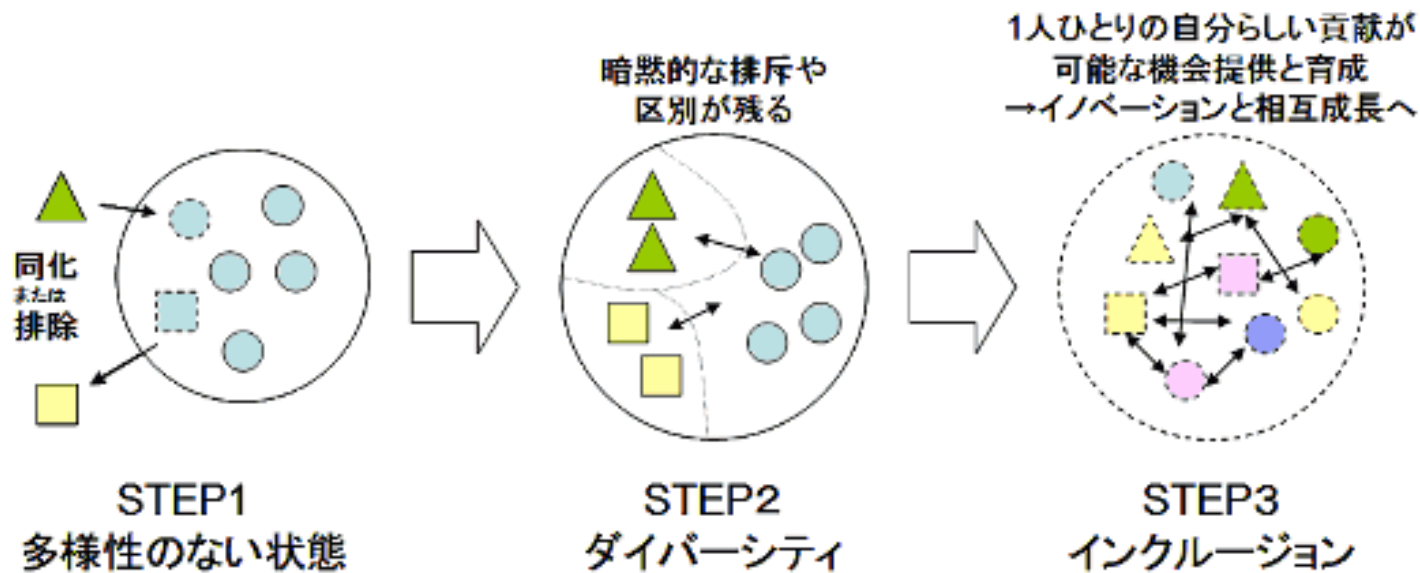
* クリエイティブ・インスピレーション・ワークショップ (年4～5回実施)
アメリカで生まれた演劇メソッドを使った体験型ワークの数々を行います。ひとりひとりの個性を大事に引き出して、楽しく遊びながら、心と身体を生き生きと解放してみませんか?



● お問い合わせ：ケアラーアクションネットワーク canjpn@gmail.com

主催：ケアラーアクションネットワーク
協力：NPO法人シアター&イベントアンサンブル グラシオブルオ  Carer Action Network

これからの社会 D&I



固定化された
行動パターンが
全ての人に
要求される社会

人々の多様性を理解して
組織や社会に活かそう

しかし・・・
暗黙のうちの了解で排斥や
差別や区別が残ってしまう

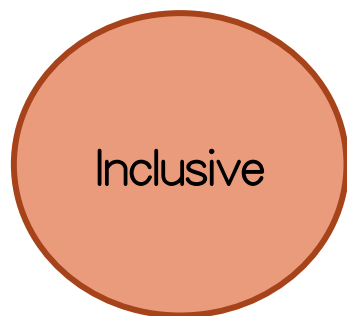
イノベーションや
相互成長を目指す社会

対等な関係で相互に関わり
合い、社会や組織に参加して
想像性が生まれる

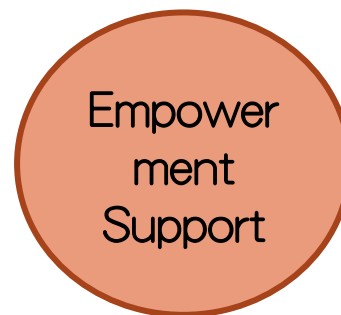
参考文献:(株)ヒューマンバリュー 研究員 堀田恵美 「企業と人材(産労総合研究所)」2008年6月5日号掲載

まとめ

インクルーシブ社会の実現 エンパワメントサポート



話題提供・講演会
大学での講義など
啓蒙活動



本来持っている
力を引き出す

ワークショップ
心と身体の解放